

# 出雲市水道事業経営戦略の改定概要について

## 1. 計画期間

令和4年度～令和13年度（10年間）

## 2. 将来の事業環境

### （1）給水人口と料金収入の見通し

#### ①給水人口

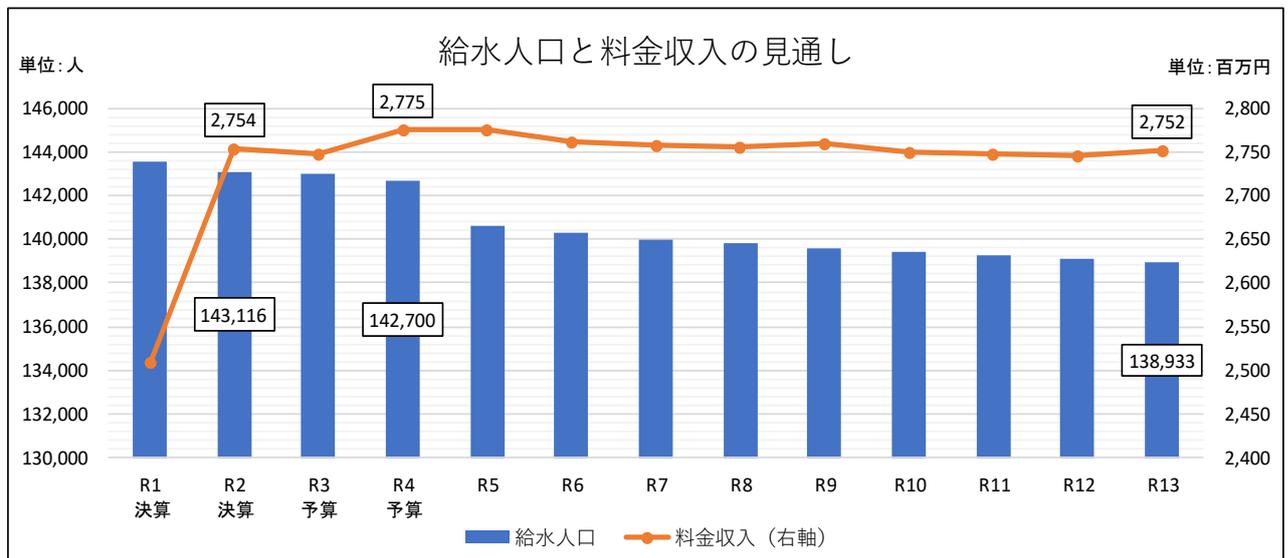
人口減少の影響を受け、減少することを見込んでいる。

#### ②水需要

配水量は一人当たり実績値と給水人口予測から推計し、有収率 92.3%で有収水量を見込んでいる。

#### ③料金収入

給水人口の減少に伴い水需要が減少することから、料金収入の減少を見込んでいる。



※令和2年4月に料金改定（平均改定率12.5%）を実施

### （2）組織の見通し

適切に事業運営を実施するため、現行の職員数を維持し、これまでに培ってきた技術・ノウハウの継承を図る。

## 3. 経営の基本方針

出雲市水道事業ビジョン（平成30年9月策定）において、次のとおり基本理念及び基本方針を定めている。

#### 【基本理念】

「安全で安心な水を安定供給し続ける水道」

#### 【基本方針】

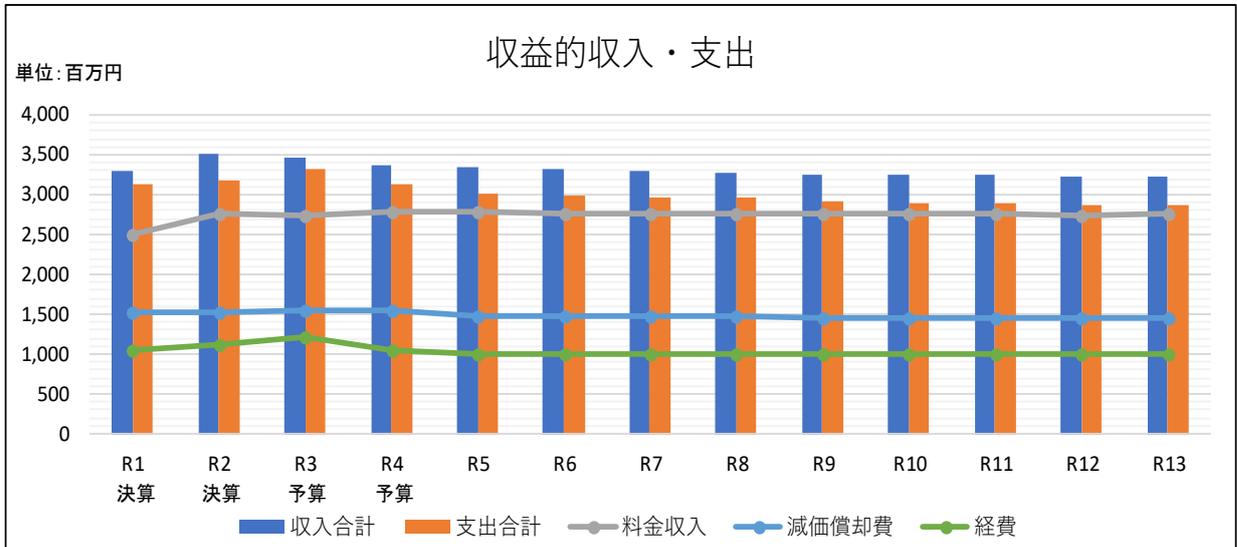
- ①「安全」・・・安全でおいしい水をとどめます
- ②「強靱」・・・災害に強い施設をつくり、しなやかな水道を実現します
- ③「持続」・・・健全な供給基盤の確保と安定的な事業運営に努めます

#### 4. 投資・財政計画（収支計画）

##### 【収益的収入・支出】

令和2年4月に料金改定（平均改定率12.5%）を実施し、収入が増加した。

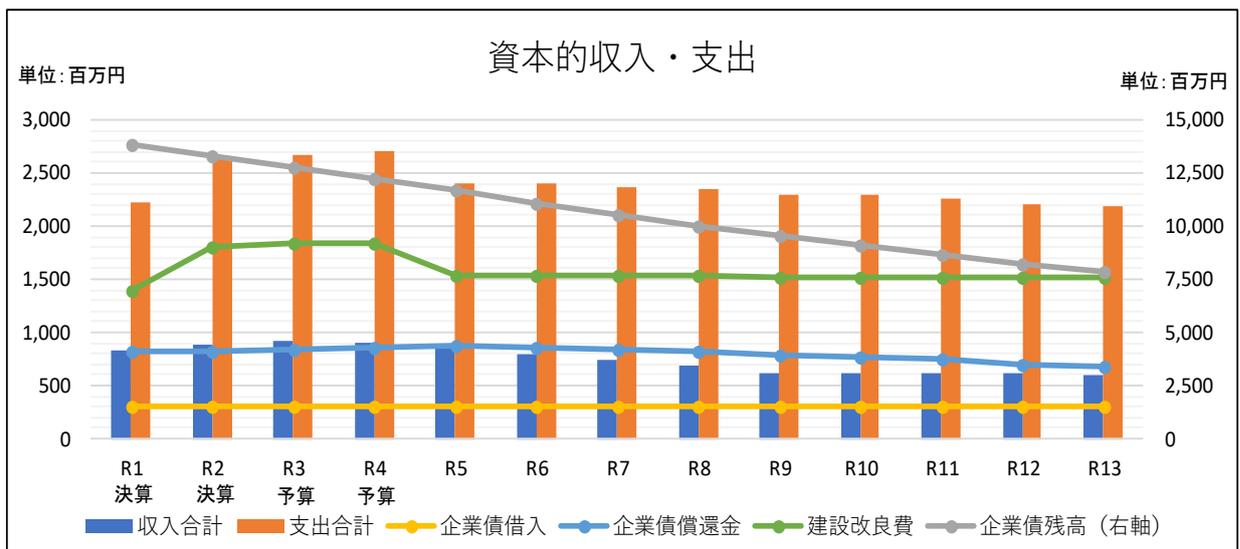
料金収入は給水人口の減少に伴い減少していく見込みであるが、計画期間中のすべての年度において、収入が支出を上回る見通しである。



##### 【資本的収入・支出】

建設改良事業を安定的に実施するとともに水道経営の安定化を図り、現役世代の水道料金の水準を抑制し、将来世代に対しても著しい負担増とならないよう、当面の間、企業債の借入は3億円とする。

水道は、市民の生活に欠かせないものであり、将来にわたって高い安全性が求められる施設であるため、常に良好な状態となるよう整備する。また、近年全国的に大規模な災害が頻発する中、災害に強い施設とするため、施設の長寿命化・耐震化及び管路の更新を進める。建設改良費は、令和5年度以降、約15億円で推移する見通しである。



#### 5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

出雲市水道事業ビジョンの基本理念及び基本方針に基づいて事業を実施し、投資・財政計画の進捗について、毎年、予算・決算時に検証を行う。

また、経営戦略の見直し、改定については、上位計画である出雲市水道事業ビジョンの見直しや改定にあわせて行い、その結果を議会に報告するとともにホームページに掲載する。